



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年10月15日
東

上場会社名 ネイス株式会社 上場取引所
コード番号 589A URL <http://ne-is.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 友介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 管理本部GM (氏名) 田島 幸樹 (TEL) 03 (4212) 3906
定時株主総会開催予定日 2026年11月30日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年11月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の業績 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	3,654	28.0	511	63.8	606	69.0	380	53.0
2025年8月期	2,855	23.0	312	299.3	358	219.7	248	820.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	93.44	87.63	54.7	23.0	14.0
2025年8月期	62.23	—	133.5	20.3	10.9

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

- (注) 1. 2025年8月期潜在株式調整後1株当たり当期純利益に関しては、潜在株式は存在するものの、当社株式は2025年8月期末において非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社株式は2026年6月30日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、2026年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2026年8月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は2026年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	3,222	1,080	33.5	241.06
2025年8月期	2,060	310	15.1	77.74

(参考) 自己資本 2026年8月期 1,080百万円 2025年8月期 310百万円

- (注) 当社は2026年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	833	△254	290	1,944
2025年8月期	660	△156	△107	1,075

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2027年8月期の業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,350	19.0	380	△25.7	450	△25.8	300	△21.2	66.94

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期	4,481,300株	2025年8月期	4,000,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期	—株	2025年8月期	—株
③ 期中平均株式数	2026年8月期	4,075,215株	2025年8月期	4,000,000株

(注) 当社は、2026年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記では前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

業績の状況

	2025年8月期		2026年8月期	
	金額 百万円	対前期増減 %	金額 百万円	対前期増減 %
売上高	2,855	23.0	3,654	28.0
営業利益	312	299.3	511	63.8
経常利益	358	219.7	606	69.0
当期純利益	248	820.1	380	53.0

セグメント別業績

		2025年8月期		2026年8月期	
		金額 百万円	対前期増減 %	金額 百万円	対前期増減 %
体操教室 事業	売上高	2,586	24.2	3,336	29.0
	利益	713	54.0	1,059	48.6
発達支援 事業	売上高	268	12.2	318	18.2
	利益	6	—	39	590.5
その他・ 調整額(注)	売上高	—	—	—	—
	利益	△360	—	△493	—

(注) 各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

K P I の状況

		2025年8月期末		2026年8月期末	
		合計	対前期増減 %	合計	対前期増減 %
店舗数	体操教室	151 店舗	31.3	195 店舗	29.1
	内、直営店	50 店舗	16.3	54 店舗	8.0
	F C 店	101 店舗	40.3	141 店舗	39.6
	発達支援	10 施設	—	12 施設	20.0
会員数	体操教室	44,616 人	27.2	53,685 人	20.3

当社は「子どもの未来をつくるサードプレイス。」のビジョンのもと、直営およびフランチャイズ方式にて「ネイス体操教室」を運営する体操教室事業、児童発達支援および放課後等デイサービス施設「ネイスぷらす」を運営する発達支援事業を行っており、以上2事業を報告セグメントとしております。

体操教室事業では、「すこやかなカラダとしなやかなココロ」を育むことをコンセプトとした子ども向けの体操教室を、全国各地のショッピングモールを中心にチェーン展開しております。少子化の中において、子どもの運動機会が減少している等、当社サービスへの需要は今後も高まることが予想されます。

発達支援事業では、障害のある子どもを対象とし、運動療育をはじめとしたさまざまな支援を提供する施設「ネイスぷらす」を展開しております。当事業は、体操の指導による全身の運動機能及び身体コントロール能力の向上、集団生活への適応訓練等のサービスを提供しており、発達障害の社会的認知の広がりにより当社サービスの必要性は高まっていると考えられます。

セグメントごとの業績は以下の通りです。

<体操教室事業>

体操教室事業については、当事業年度で新規に開設した45店舗の集客も順調に推移し、累計で195店舗となりました。既存店については値上げ実施後も引き続き高い水準で会員数が推移し、当事業年度の売上高は3,336,915千円(前期比29.0%増)、セグメント利益は1,059,957千円(48.6%増)となりました。なお、当事業年度において退店が1店舗ありました。

<発達支援事業>

発達支援事業については、当事業年度で新規に開設した2店舗も好調に立ち上がり、既存店舗の売上も向上したことから、当事業年度の売上高は318,032千円(前期比18.2%増)、セグメント利益は39,478千円(前期比590.5%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の資産合計は3,222,059千円となり、前事業年度末と比較して1,161,474千円増加いたしました。

流動資産は2,306,581千円となり、前事業年度末と比較し921,717千円増加いたしました。これは主に、店舗数増加により売上が増大した為、現金及び預金が868,705千円、売掛金が31,293千円、前渡金が15,786千円増加したことによるものであります。

固定資産は915,477千円となり、前事業年度末と比較して239,756千円増加いたしました。これは主に、新規直営店舗の開設等に伴い建物が123,960千円、差入保証金が85,757千円、関係会社株式が38,270千円増加したことに対し、繰延税金資産が7,112千円減少したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債合計は2,141,780千円となり、前事業年度末と比較して392,151千円増加いたしました。

流動負債は1,626,797千円となり、前事業年度末と比較して339,822千円増加いたしました。これは主に、FC店舗数の増加に伴い預り金が212,139千円、未払金が77,844千円、未払法人税等が77,823千円増加したことに対し、1年内返済予定の長期借入金が45,929千円減少したことによるものであります。

固定負債は514,983千円となり、前事業年度末と比較して52,329千円増加いたしました。これは主に、店舗数の増加に伴い長期預り保証金が64,928千円、資産除去債務が40,249千円増加したことに対し、長期借入金が52,427千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、1,080,278千円となり、前事業年度末と比較して769,322千円増加いたしました。これは、新株の発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ194,276千円増加、当期純利益の計上により利益剰余金が380,769千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,944,576千円となり、前事業年度末と比較して868,705千円増加いたしました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、833,206千円(前期は660,261千円の獲得)となりました。これは主に、税引前当期純利益604,516千円、預り金の増加による収入212,139千円、長期預り保証金の増加による収入38,000千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、254,697千円(前期は156,466千円の使用)となりました。これは主に、長期預り保証金の受入による収入が26,928千円があったものの、新規直営教室の開設等に伴う建物並びに工具、器具及び備品等の有形固定資産の取得による支出151,208千円、敷金等の差入による支出90,574千円、関係会社株式の取得による支出38,270千円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、290,196千円(前期は107,696千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が98,356千円あったものの、株式の発行による収入330,924千円、新株予約権の行使による収入57,628千円の資金の増加要因があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2027年8月期の店舗数は新規出店58店舗により、期末265店舗体制を計画しております。

出店計画を踏まえ、2027年8月期の業績予想は、売上高4,350百万円(前年同期比19.0%増)、営業利益380百万円(同25.7%減)、経常利益450百万円(同25.8%減)、当期純利益300百万円(同21.2%減)を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,075,870	1,944,576
売掛金	100,002	131,296
商品	41,013	38,756
貯蔵品	45,338	46,679
前渡金	32,660	48,447
前払費用	43,988	51,836
その他	46,588	45,513
貸倒引当金	△600	△525
流動資産合計	1,384,863	2,306,581
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	288,779	412,740
工具、器具及び備品（純額）	7,892	12,643
建設仮勘定	12,599	3,601
有形固定資産合計	309,271	428,985
無形固定資産		
特許権	223	192
ソフトウェア	15,030	13,115
無形固定資産合計	15,254	13,308
投資その他の資産		
関係会社株式	—	38,270
出資金	50	50
差入保証金	332,923	418,681
長期前払費用	1,403	6,477
繰延税金資産	8,318	1,205
その他	8,500	8,500
投資その他の資産合計	351,195	473,184
固定資産合計	675,721	915,477
資産合計	2,060,585	3,222,059

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当事業年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,986	610
1年内返済予定の長期借入金	98,356	52,427
未払金	154,835	232,680
未払費用	38,559	35,917
未払法人税等	105,767	183,591
契約負債	360,313	370,347
預り金	466,219	678,358
賞与引当金	3,776	5,503
資産除去債務	—	2,743
その他	55,161	64,618
流動負債合計	1,286,975	1,626,797
固定負債		
長期借入金	138,187	85,760
長期末払金	491	70
長期預り保証金	173,328	238,256
資産除去債務	150,647	190,896
固定負債合計	462,653	514,983
負債合計	1,749,629	2,141,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,000	232,276
資本剰余金		
資本準備金	—	194,276
その他資本剰余金	20,000	20,000
資本剰余金合計	20,000	214,276
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	252,956	633,725
利益剰余金合計	252,956	633,725
株主資本合計	310,956	1,080,278
純資産合計	310,956	1,080,278
負債純資産合計	2,060,585	3,222,059

(2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	2,855,346	3,654,948
売上原価	1,552,559	1,825,020
売上総利益	1,302,786	1,829,927
販売費及び一般管理費	990,508	1,318,406
営業利益	312,278	511,521
営業外収益		
受取利息	764	2,332
受取出向料	4,130	23,486
助成金収入	38,491	59,897
その他	5,636	16,858
営業外収益合計	49,022	102,574
営業外費用		
支払利息	2,535	2,320
火災損失	—	5,372
その他	9	91
営業外費用合計	2,544	7,784
経常利益	358,755	606,311
特別損失		
固定資産除却損	4,006	1,795
減損損失	10,744	—
特別損失合計	14,751	1,795
税引前当期純利益	344,004	604,516
法人税、住民税及び事業税	120,530	216,633
法人税等調整額	△25,433	7,112
法人税等合計	95,097	223,746
当期純利益	248,907	380,769

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
					繰越利益 剰余金			
当期首残高	38,000	—	20,000	20,000	4,048	4,048	62,048	62,048
当期変動額								
当期純利益					248,907	248,907	248,907	248,907
当期変動額合計	—	—	—	—	248,907	248,907	248,907	248,907
当期末残高	38,000	—	20,000	20,000	252,956	252,956	310,956	310,956

当事業年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
					繰越利益 剰余金			
当期首残高	38,000	—	20,000	20,000	252,956	252,956	310,956	310,956
当期変動額								
新株の発行	165,462	165,462		165,462			330,924	330,924
新株の発行 （新株予約権の行使）	28,814	28,814		28,814			57,628	57,628
当期純利益					380,769	380,769	380,769	380,769
当期変動額合計	194,276	194,276	—	194,276	380,769	380,769	769,322	769,322
当期末残高	232,276	194,276	20,000	214,276	633,725	633,725	1,080,278	1,080,278

(4) キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	344,004	604,516
減価償却費	85,499	107,717
減損損失	10,744	—
有形固定資産除却損	4,006	1,795
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	600	△75
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,755	1,727
助成金収入	△38,491	△59,897
受取利息及び受取配当金	△764	△2,332
火災損失	—	5,372
支払利息	2,535	2,320
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,853	△31,293
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,229	761
未収入金の増減額 (△は増加)	△6,474	△6,502
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△40,682	△13,114
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△683	△5,074
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,271	△3,375
未払金の増減額 (△は減少)	8,780	41,624
未払費用の増減額 (△は減少)	△6,815	△2,630
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,295	9,377
預り金の増減額 (△は減少)	150,156	212,139
契約負債の増減額 (△は減少)	110,533	10,033
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	139	27,658
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	28,000	38,000
その他	2,374	3,806
小計	651,161	942,555
助成金の受取額	38,422	57,107
利息及び配当金の受取額	647	2,332
利息の支払額	△2,548	△2,319
法人税等の還付額	1,534	—
法人税等の支払額	△28,955	△166,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	660,261	833,206
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△105,900	△151,208
無形固定資産の取得による支出	△10,008	△3,480
差入保証金の回収による収入	6,045	4,816
差入保証金の差入による支出	△60,122	△90,574
長期預り保証金の受入による収入	16,920	26,928
資産除去債務の履行による支出	△3,400	△2,910
関係会社株式の取得による支出	—	△38,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,466	△254,697

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△107,696	△98,356
株式の発行による収入	—	330,924
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	57,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,696	290,196
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	396,098	868,705
現金及び現金同等物の期首残高	679,771	1,075,870
現金及び現金同等物の期末残高	1,075,870	1,944,576

- (5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は非連結子会社として NEIS GYMNASTICS SDN.BHD を有しておりますが、利益基準及び利益剰余金基準からみて重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社は、「子どもの未来をつくるサードプレイス」のビジョンのもと、子ども向け教室事業を営んでおり、通所対象者と教室のコンセプトに応じた以下の2事業を報告セグメントとしております。

「体操教室事業」では、「すこやかなカラダとしなやかなココロ」をコンセプトとした子ども向けの体操教室を日本全国のショッピングモールを中心にチェーン展開しており、体操教室の運営と関連する商品販売を行っております。

「発達支援事業」では、障害のある子どもを対象とし、運動療育による身体コントロール能力の向上や集団生活への適応訓練等の支援を提供する施設「ネイスぷらす」を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益をベースとした数値であります。

なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

(単位：千円)

	体操教室 事業	発達支援 事業	合計	調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	379,184	268,886	648,071	—	648,071
一定の期間にわたり移転される財 又はサービス	2,207,275	—	2,207,275	—	2,207,275
顧客との契約から生じる収益	2,586,459	268,886	2,855,346	—	2,855,346
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,586,459	268,886	2,855,346	—	2,855,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,586,459	268,886	2,855,346	—	2,855,346
セグメント利益	713,030	6,684	719,715	△360,959	358,755
セグメント資産 (注) 3	795,867	84,527	880,395	1,180,189	2,060,585
その他の項目					
減価償却費	69,598	4,952	74,550	10,948	85,499
減損損失	—	10,744	10,744	—	10,744

(注) 1 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益の調整額△360,959千円の内訳は、各報告セグメントに配分していない全社費用△360,959千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(2) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

(注) 2 セグメント利益は、損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(注) 3 セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。

当事業年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

(単位：千円)

	体操教室 事業	発達支援 事業	合計	調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	639,715	318,032	957,748	—	957,748
一定の期間にわたり移転される財 又はサービス	2,697,200	—	2,697,200	—	2,697,200
顧客との契約から生じる収益	3,336,915	318,032	3,654,948		3,654,948
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,336,915	318,032	3,654,948	—	3,654,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,336,915	318,032	3,654,948	—	3,654,948
セグメント利益	1,059,957	39,478	1,099,436	△493,124	606,311
セグメント資産 (注) 3	1,035,537	122,292	1,157,830	2,064,229	3,222,059
その他の項目					
減価償却費	90,836	3,522	94,359	13,357	107,717
減損損失	—	—	—	—	—

(注) 1 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益の調整額△493,124千円の内訳は、各報告セグメントに配分していない全社費用△493,124千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(2) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

(注) 2 セグメント利益は、損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(注) 3 セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	77.74円	241.06円
1株当たり当期純利益	62.23円	93.44円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	87.63円

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益に関しては、潜在株式は存在するものの、当社株式は前事業年度末において非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社株式は2026年6月30日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は2026年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
4. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当事業年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	248,907	380,769
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	248,907	380,769
普通株式の期中平均株式数(株)	4,000,000	4,075,215
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	270,174
(うち新株予約権(株))	(—)	(270,174)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数 201,200個)	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。